

地域母子保健研修会 6.

「支援が必要な子どもの保健指導（低出生体重児・医ケア・発達障害）」日程表

- ≪目的≫ 小児医療の高度化で、医療依存度の高い子どもの増加や、発達障害など支援を必要とする子どもと家庭が増加しています。多職種による在宅医療や地域支援の必要性について理解を深めます。
- ≪日程≫ 令和7年12月10日(水)～12月11日(木)
- ≪対象≫ 母子保健分野・周産期看護・在宅医療等に従事する保健師、助産師、看護師
保育士、心理士 等
- ≪定員≫ 会場：50名 / Web：60名

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
12/10 (水)	10:00～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:40～12:00	医療依存度の高い小児と 家族を支える在宅医療	前田 裕利	医療法人財団はるたか会理事長 あおぞら診療所
	13:00～14:20	極低出生体重児の成長・発達、 NICUの現場から	豊島 勝昭	神奈川県立こども医療センター 周産期医療センター新生児科 周産期医療センター長
	14:35～15:55	発達障害を持つ子ども達の育ちを支援する	岡田 俊	奈良県立医科大学 精神医学講座 教授
12/11 (木)	9:30～10:15	グループワーク		
	10:30～11:50	医ケアが必要な子どもたちの家族支援	三浦 幸子	訪問心理相談室みうら 心身障害児総合医療療育センター (臨床心理士・公認心理師)
	13:00～14:20	医療的ケア児の在宅生活を支える	小川 一枝	杉並区役所 保健福祉部障害者施策課 医療的ケア児等コーディネーター
	14:35～15:55	幼児期の発達障害	小枝 達也	鳥取県立総合療育センター 院長代理

地域母子保健研修会 6.
「支援が必要な子どもの保健指導（低出生体重児・医ケア・発達障害）」
開催要領（ハイブリッド形式）

1. 目的

小児医療の高度化で、医療依存度の高い子どもの増加や、発達障害など支援を必要とする子どもと家庭が増加しています。多職種による在宅医療や地域支援の必要性について理解を深めます。

2. 期間

令和7年12月10日(水)～12月11日(木)

3. 会場

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 4階研修室
〒106-8580 東京都港区南麻布5-6-8（東京メトロ日比谷線広尾駅 徒歩約8分）

4. 対象者・定員

母子保健分野・周産期看護・在宅医療等に従事する保健師、助産師、看護師
保育士・心理士等（会場50名／Web60名）

5. 内容

日程表をご参照ください。

6. 申し込み

本会ホームページ上の申込フォームより、令和7年10月6日(月)～10月24日(金)の期間内にお申し込みください。Web受講については、ビデオツール「Zoom ウェビナー」を使用してのライブ配信です。同一ご所属先から複数名ご参加を希望される場合も、お一人ずつお申し込みください。

7. 受講料

28,600円（税込）（資料代込み）※WEB受講生のみ資料郵送料+430円

8. 受講決定

申込締切日以降10日を目途にメールにて通知いたします。

9. 問合せ先

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 研修部
電話：03-3473-8335 Email：kenshu@aiiku.or.jp